

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和6年4月11日

提出区分	実績	整理番号	18	課題区分	C
横断的な課題	諏訪湖創生ビジョンの推進				
地域重点政策	諏訪湖創生ビジョンの推進				
実施機関	諏訪地域振興局			担当課	所属
事業名	諏訪湖における持続可能な漁業振興検討事業			所属	諏訪農業農村支援センター
				電話	0266-57-2913(内線2363)
				E-mail	suwa-nosei@pref.nagano.lg.jp
目的 (目指す姿)	諏訪湖創生ビジョンの改定を通じて見えた新たな課題である「漁業の振興」のため、課題整理及び対応策について検討する。				
現状と課題	諏訪湖創生ビジョンの改定(施策の見直し)では、主要施策として生態系保全が挙げられ、その中の一つに漁業振興が改定後のビジョンにも今後の取組みとして記載している。一方、これらの課題については、様々な立場の団体が関与するため様々な意見があることから、施策の推進において意見調整や合意形成が必要となっている。				
内容 (変更後の内容)	課題の一つである「生態系保全」の内、漁業の振興について対応するため、ワーキンググループを設置し課題及び対応策の検討を行う。対応策の検討にあたっては、他県の取組みを参考に、実施可能な手法やその手順に係る情報共有を行い、検討の材料とする。 (1)ワーキンググループの設置・開催(テーマ:諏訪湖における持続可能な漁業振興に係るWG) 諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員をメンバーとし、学識経験者1名(県内水面漁場管理委員長)にも参画していただく。他地域の取組事例等の共有や、有識者を交えた意見交換を行い、課題に対する対応策を検討する。 1月~3月 2回実施(1月11日、2月15日) (2)現地視察の実施 実際に諏訪湖へ現地視察に行き、ワーキンググループで検討した対応策の実施箇所や、来年度以降の具体的な取組を決定していく。 1月11日 1回実施				
事業期間	R5. 6		~	R6. 3	
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	ワーキンググループ	外部有識者への謝金、旅費	35,460	学識経験者	
	諏訪湖における現地視察	湖内環境の視察・調査	14,800	視察用船舶の借上げ(漁協)	
	合計		50,260		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	来年度以降における具体的な取組案の提案		1件	1件	● 達成
					○ 一部達成
					○ 未達成
事業実績・成果	・1月13日に諏訪湖創生ビジョン推進会議のメンバー及び外部識者によるWGを開催し、諏訪湖に生息する魚類の変遷、漁獲量の推移について、参加者で共有した。 ・漁業、釣り観光について、漁業者釣り船組合からは、「エビ類がもっと採れるようにしてほしい」、「ワカサギの漁獲量を大量死前(H28)の状態にもどしてほしい」、などの意見が出された。 ・外部識者の平林氏(信州大学教授、県内水面漁場管理委員長)からは、様々な事情を踏まえ現在の諏訪湖に適した漁業を検討することも重要との意見をいただいた。 ・対応策として以下の提案(成果)があった。 ナノバブル発生装置を活用した脱貧酸素化、シジミ用に区画を決めた養殖、湖沼を管理する自治体連携				
今後の方向性	・他の湖沼で実践している事例等を参考に、諏訪湖に適した対応策の検討を引き続き行う。				